

平成 28 年 3 月 17 日

平成 27 年平均 富山市の家計調査の結果（家計収支編）概要について

総務省統計局より「家計調査報告〔家計収支編〕（平成 27 年平均速報結果の概況）」が公表され、富山市分がまとまりましたのでお知らせいたします。

調査の概要

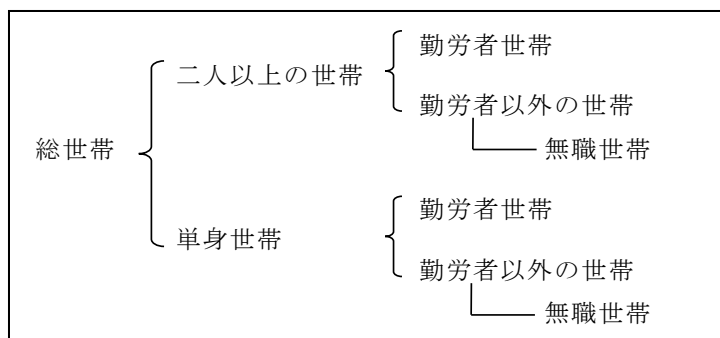
1 調査の目的

家計調査は、全国の世帯を対象とし、毎月の家計収支を調査することにより、国民生活の実態を明らかにして、経済施策や社会政策立案のための基礎資料を得るために行う調査であり、主に都道府県庁所在市の調査結果が公表されている。

2 調査世帯

区 分	全 国	富 山 県			
		富山市	射水市	魚津市	計
総 世 帯	8,821	104	26	13	143
二人以上の世帯	8,076	96	24	12	132
単 身 世 帯	745	8	2	1	11

3 調査世帯区分



「勤労者世帯」：世帯主が会社、官公庁、学校、工場、商店などに雇われて勤めている世帯。
ただし、世帯主が社長、取締役、理事など会社・団体の役員である世帯は「勤労者以外の世帯」に含める。

「勤労者以外の世帯」：上記の「勤労者世帯」以外の世帯。例えば、世帯主が自営業者、個人経営者など上記の使用側にある世帯。

「無職世帯」：「勤労者以外の世帯」のうち、世帯主が無職である世帯。

結果の概要

(1) 二人以上の世帯の家計消費

二人以上の世帯の消費支出は 313,798 円で全国第 5 位、実質 8.7%の減少

平成 27 年の二人以上の世帯の消費支出は、1 世帯当たり 1 か月平均 313,798 円で全国第 5 位となり、前年（平成 26 年）と比較すると、名目 7.6%の減少、実質 8.7%の減少となった。

消費支出を 10 大費目別にみると、「その他の消費支出」、「家具・家事用品」、「教育」、「被服及び履物」、「教養娯楽」、「交通・通信」及び「食料」の 7 費目が実質減少となった一方、「住居」、「光熱・水道」、「保健医療」が実質増加となった（表 1、図 1、図 2）。

表 1 費目別消費支出（二人以上の世帯）

項 目	富山市				増減率(%)		全国
	平成26年	順位	平成27年	順位	名目	実質	平成27年
世帯人員(人)	3.26	3	3.15	9	-	-	3.02
65歳以上人員(人)	0.65	39	0.80	18	-	-	0.82
有業人員(人)	1.51	5	1.55	3	-	-	1.35
世帯主の年齢(歳)	55.8	41	58.3	30	-	-	58.8
消費支出(円)	339,622	1	313,798	5	-7.6	-8.7	287,373
食料	74,998	7	76,198	6	1.6	-2.3	71,844
住居	12,856	36	14,942	33	16.2	14.5	17,931
光熱・水道	25,893	9	26,158	7	1.0	3.9	23,197
家具・家事用品	13,347	2	11,501	7	-13.8	-16.7	10,458
被服及び履物	12,239	18	11,487	23	-6.1	-8.5	11,363
保健医療	11,924	24	12,309	20	3.2	2.4	12,663
交通・通信	48,245	7	45,142	7	-6.4	-4.1	40,238
教育	11,055	25	10,435	20	-5.6	-9.1	10,995
教養娯楽	31,366	10	30,294	13	-3.4	-5.2	28,314
その他の消費支出	97,700	1	75,332	4	-22.9	-23.8	60,371
エンゲル係数(%)	22.1	43	24.3	27	-	-	25.0

(注) 表中の数字は、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳を足し上げても必ずしも合計とは一致しない。

図1 費目別消費支出金額（富山市、二人以上の世帯）

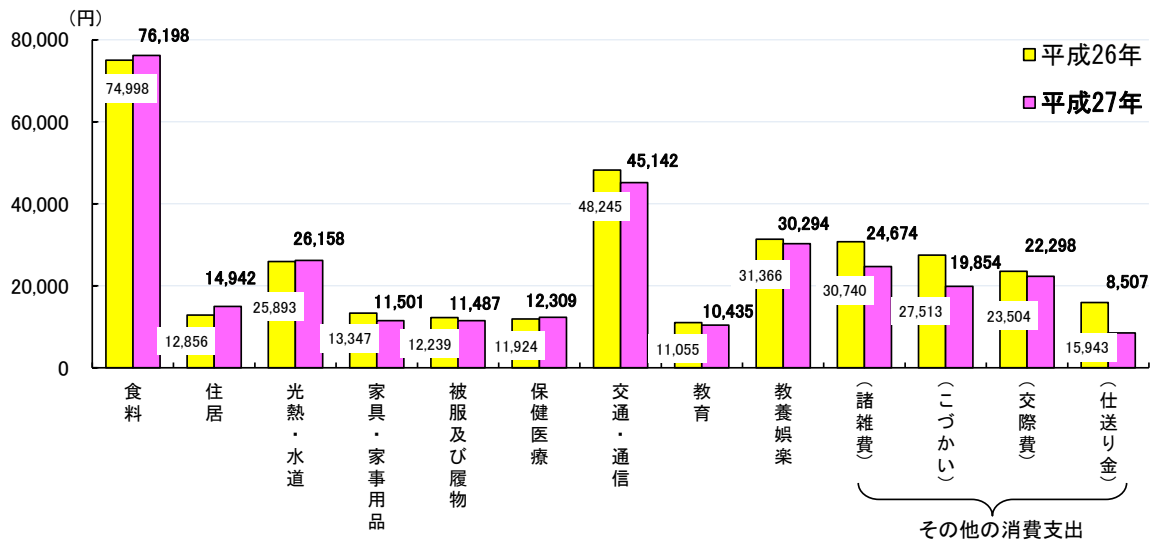
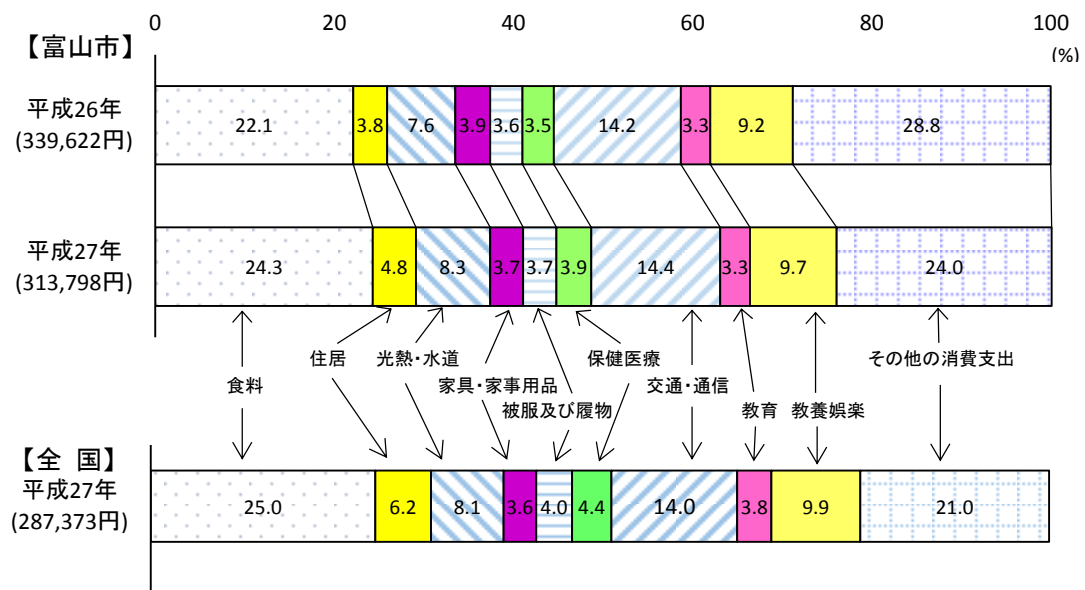


図2 費目別消費支出の割合（二人以上の世帯）



(2) 二人以上の世帯のうち勤労者世帯の家計収支

勤労者世帯の実収入は 629,591 円で全国第 2 位、実質 2.7%の減少
可処分所得は 530,185 円で全国第 1 位、実質 3.2%の減少

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の実収入は、1 世帯当たり 1 か月平均 629,591 円で全国第 2 位となり、前年と比較すると名目 1.5%の減少、実質 2.7%の減少となった。

実収入の内訳をみると、「勤め先収入」のうち「配偶者の収入」(96,635 円、全国第 6 位)や「他の世帯員収入」(40,324 円、全国第 2 位)が全国平均を大きく上回っている。また、年金等を含む「その他の収入」も 69,052 円で全国第 2 位となっている。

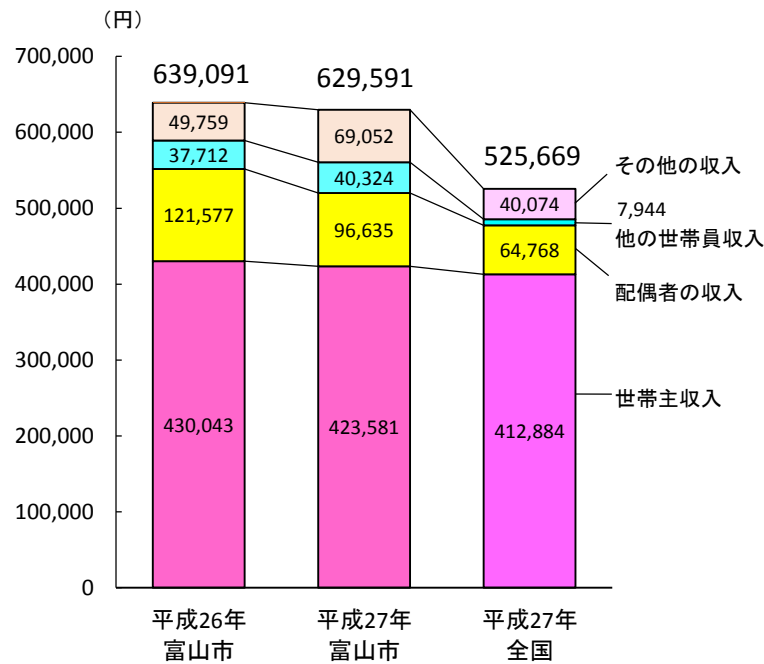
その他に、実収入から税金などの非消費支出を引いた可処分所得は 530,185 円で全国第 1 位となった(表 2、図 3)。

表 2 家計収支と内訳(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項 目	富山市				増減率(%)		全国
	平成26年	順位	平成27年	順位	名目	実質	平成27年
世帯人員(人)	3.62	2	3.42	20	-	-	3.39
65歳以上人員(人)	0.25	12	0.37	2	-	-	0.25
有業人員(人)	1.93	1	1.88	4	-	-	1.73
世帯主の年齢(歳)	48.1	16	50.2	3	-	-	48.8
実収入(円)	639,091	2	629,591	2	-1.5	-2.7	525,669
勤め先収入	589,332	2	560,539	2	-4.9	-6.0	485,595
世帯主収入	430,043	19	423,581	21	-1.5	-2.7	412,884
世帯主の配偶者の収入	121,577	2	96,635	6	-20.5	-21.4	64,768
他の世帯員収入	37,712	2	40,324	2	6.9	5.6	7,944
その他の収入	49,759	10	69,052	2	38.8	37.2	40,074
消費支出(円)	383,201	1	333,302	12	-13.0	-14.0	315,379
非消費支出(円)	98,165	25	99,406	21	1.3	-	98,398
可処分所得(円)	540,926	1	530,185	1	-2.0	-3.2	427,270
黒字(円)	157,726	4	196,882	1	24.8	-	111,891
平均消費性向(%)	70.8	41	62.9	47	-	-	73.8
エンゲル係数(%)	20.1	47	23.4	20	-	-	23.6

(注) 表中の数字は、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳を足し上げても必ずしも合計とは一致しない。

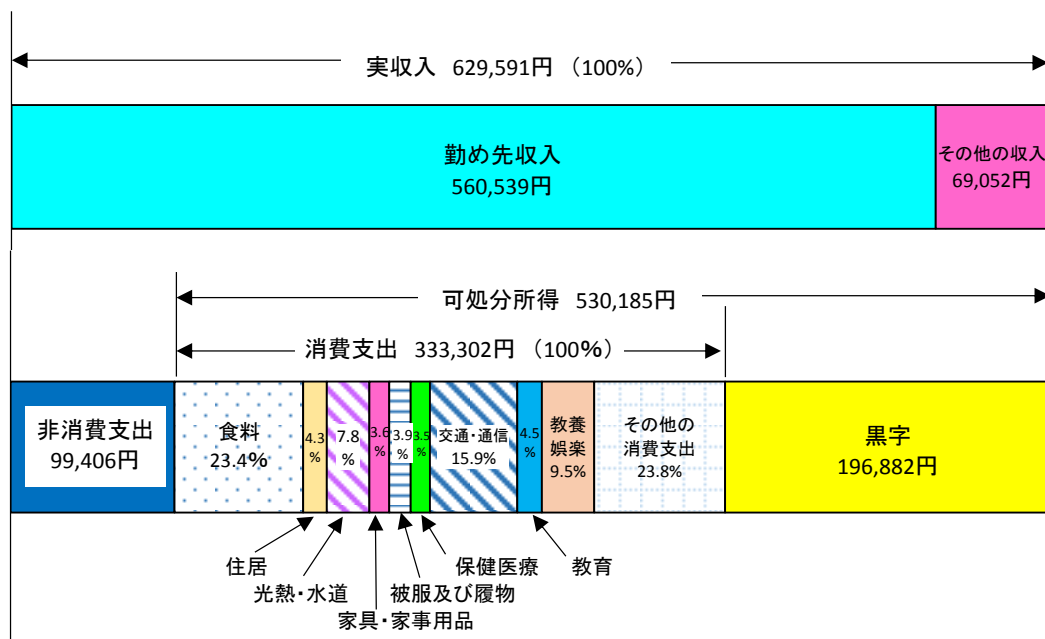
図3 実収入の内訳（二人以上世帯のうち勤労者世帯）



勤労者世帯の消費支出は 333,302 円で全国第 12 位、実質 14.0%の減少

二人以上の世帯のうち勤労者世帯の消費支出は、1世帯当たり1か月平均333,302円で全国第12位となり、前年と比較すると名目13.0%の減少、実質14.0%の減少となった（表2、図4）。

図4 家計収支の構成（富山市、二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



(3) 総世帯の家計収支

総世帯の消費支出は 253,726 円で全国第 12 位、実質 14.7%の減少
 勤労者世帯の実収入は 557,142 円で全国第 3 位、実質 0.9%の増加

総世帯*の消費支出は、1 世帯当たり 1 か月平均 253,726 円で全国第 12 位、前年と比較すると名目 13.7%の減少、実質 14.7%の減少となった。

総世帯のうち勤労者世帯の実収入は、1 世帯当たり 1 か月平均 557,142 円で全国第 3 位、前年と比較すると名目 2.1%の増加、実質 0.9%の増加となった（表 3、表 4）。

※ 総世帯とは、「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯をいう。

表 3 消費支出（総世帯）

項 目	富山市				増減率(%)		全国
	平成26年	順位	平成27年	順位	名目	実質	平成27年
世帯人員(人)	2.61	4	2.44	10	-	-	2.38
有業人員(人)	1.25	2	1.26	1	-	-	1.09
世帯主の年齢(歳)	55.4	41	56.3	39	-	-	58.9
消費支出	293,891	3	253,726	12	-13.7	-14.7	247,126

表 4 家計収支（総世帯のうち勤労者世帯）

項 目	富山市				増減率(%)		全国
	平成26年	順位	平成27年	順位	名目	実質	平成27年
世帯人員(人)	2.95	10	2.79	21	-	-	2.71
有業人員(人)	1.69	2	1.65	9	-	-	1.52
世帯主の年齢(歳)	45.2	35	48.1	10	-	-	46.9
実収入（円）	545,653	3	557,142	3	2.1	0.9	469,200
消費支出	334,994	2	282,954	15	-15.5	-16.5	276,567
非消費支出	81,881	26	86,152	26	5.2	-	88,007
可処分所得	463,771	2	470,990	3	1.6	0.4	381,193
黒字	128,777	8	188,036	1	46.0	-	104,626
平均消費性向（%）	72.2	28	60.1	45	-	-	72.6
エンゲル係数(%)	19.8	46	23.8	21	-	-	23.9

(4) 食料品品目別ランキング（二人以上の世帯、都道府県庁所在市別）

「ぶり」は44年連続、「こんぶ」は55回目の支出金額第1位

二人以上の世帯の1世帯当たり年間の食料の支出金額が大きい品目をみると、「ぶり」、「いか」、「さしみ盛合わせ」、「こんぶ」、「魚介の漬物（みそ漬、昆布締め等）」、「オレンジ」、「冷凍調理食品」は、昨年に引き続き全国第1位となった。

中でも「ぶり」は44年連続、「こんぶ」は都市別データが確認できる昭和35年以来、平成25年を除き、55回全国第1位となっている（表5）。

表5 富山市の食料品全国ランキング

	全国順位		平成26年	平成27年
支出金額	上位	1位	ぶり、いか、さしみ盛合わせ こんぶ、魚介の漬物（みそ漬、昆布締め等） オレンジ、冷凍調理食品、もち、コーヒー飲料	ぶり、いか、さしみ盛合わせ こんぶ、魚介の漬物（みそ漬、昆布締め等） オレンジ、冷凍調理食品
		2位	他の貝（はまぐり、つば貝等）、ふりかけ、プリン アイスクリーム・シャーベット 果実・野菜ジュース	もち、牛乳、ほうれんそう、えのきたけ こんぶつくだ煮、そうざい材料セット 他の茶葉（麦茶、はとむぎ茶等）
		3位	かまぼこ、キャベツ、さといも、生しいたけ だいこん漬、こんぶつくだ煮、ゼリー、カツレツ 他のきのこ（なめこ、マッシュルーム等）	かまぼこ、カツレツ、天ぷら・フライ 調理パン（コロッケパン、焼きそばパン等）
	下位	45位	弁当、ミネラルウォーター	－
		46位	かつお節・削り節	ミネラルウォーター
		47位	かつお、卵、食用油、酢、紅茶	－
購入数量	上位	1位	ぶり、さしみ盛合わせ、だいこん漬 こんぶつくだ煮、もち	ぶり、さしみ盛合せ、オレンジ
		2位	こんぶ、米	卵、さつまいも、だいこん漬
		3位	カップめん、さといも 他のきのこ（なめこ、マッシュルーム等）、オレンジ	えび、かぼちゃ、こんぶ、こんぶつくだ煮
	下位	45位	－	－
		46位	食用油、ドレッシング	焼酎
		47位	かつお	－

用語の解説

収 支 項 目

実収入	…	いわゆる税込み収入であり、世帯員全員の現金収入を合計したもの。
実支出	…	「消費支出」と「非消費支出」を合計した支出。
消費支出	…	いわゆる生活費のことであり、日常の生活を営むに当たり必要な商品やサービスを購入して実際に支払った金額。
非消費支出	…	税金や社会保険料など、原則として世帯の自由にならない支出。
可処分所得	…	「実収入」から税金、社会保険料などの「非消費支出」を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のこと。これにより購買力の強さを測ることができる。可処分所得＝実収入－非消費支出
黒 字	…	「実収入」と「実支出」との差であり、マイナスの場合は赤字ということになる。これは「可処分所得」から「消費支出」を差し引いた額とも同じである。黒字＝実収入－実支出＝可処分所得－消費支出

各 種 比 率

エンゲル係数	…	消費支出に占める食料費の割合であり、生活水準の高低を表す一つの指標となる。エンゲル係数（％）＝食料費÷消費支出×100
平均消費性向	…	可処分所得に対する消費支出の割合。 平均消費性向（％）＝消費支出÷可処分所得×100
実質増減率	…	名目増減率から消費者物価変動の要素を除いたもの。 消費支出の項目ごとの対前年実質増減率は、次式により求めている。 なお、実収入、可処分所得及び消費支出は、消費者物価指数の持家の帰属家賃※を除く総合指数の変化率を用いている。 $\text{実質増減率（％）} = \left[\frac{100 + \text{名目増減率}}{100 + \text{各項目に対応する消費者物価指数の変化率}} - 1 \right] \times 100$

※ 持家の帰属家賃…持家の住宅を借家とみなした場合、支払われるべき家賃

※ 調査結果については、調査世帯数が少ないため、標本誤差が大きいことに留意する必要がある。

※この家計調査の結果は、以下の URL でもご覧になれます。

- ・富山県 HP とやま統計ワールド
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1015/index2.html>
- ・総務省統計局家計調査 HP
<http://www.stat.go.jp/data/kakei/2.htm#new>（家計収支編）